

2005年
沖電気工業(株) 生産サービスカンパニー
環境アニュアルレポート

----- 【目次】 -----

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. ごあいさつ 2. 地区概要と事業活動における環境への影響 3. 環境方針と環境管理体制 4. 2004年度環境目標 及び 実績 5. 2005年度環境目標 | <ul style="list-style-type: none"> 6. 環境負荷低減活動 7. 遵法 8. 環境教育・啓蒙 9. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・緑化活動(ケナフ栽培) ・社会貢献活動 |
|--|---|

このレポートは、2004年度(2004年4月1日～2005年3月31日)の沖電気工業株式会社 生産サービスカンパニーの環境に関する活動実績をもとに作成しております。

1. ごあいさつ

環境アニュアルレポートを発行するにあたり、**沖電気工業㈱ 情報通信事業グループ 生産サービスカンパニー**（略称：MSC）を代表しまして、ご挨拶申し上げます。

MSCは本庄地区と富岡地区を拠点とし、部品の加工、製品の組立・検査などの生産サービス事業を展開しております。お客様のご要求を的確に捉え、品質の高い製品・サービス、そして、「安心」をご提供するとともに、企業活動全般において、地球環境に貢献できるよう環境活動を推進しております。

近年の環境活動は省エネや廃棄物に対するゼロエミッションといった取組みだけでなく、RoHS指令対応をはじめとした環境適合性も重要視されています。MSCとしましても原材料や部品の評価、製品の組立手順の見直し、作業者の教育などを行い、環境を配慮した製品のご提供ができるよう生産体制の構築を図っております。

また、従来より取り組んでおります『省資源、省エネルギー、廃棄物の抑制・再利用』につきましても、日常業務の改善を通し積極的に取り組み、環境負荷の低減に努めて参ります。

MSCと致しましては、環境活動と事業経営との調和を図りつつ、今後も引き続き環境を配慮した生産サービス事業を展開していきたいと考えております。

最後に、本レポートをご一読頂き、MSCの環境活動に取り組む姿勢や活動の一端をご理解いただき、今後の活動に向けて忌憚のないご意見をいただければ幸いです。



沖電気工業株式会社
生産サービスカンパニー
〔プレジデント〕 **森園 英人**

2. 地区概要 と 事業活動における環境への影響

本庄地区



地区概要	
所在地	埼玉県本庄市小島南4 - 1 - 1 (〒367-8686)
工場設立	昭和37年(1962年)
従業員数	約950名(関企含む)
敷地面積	131,000 m ²
建築面積	52,115 m ²
用途地域	工業専用地域
事業内容	通信機器製品・情報機器製品、及びEMS(受託生産サービス)製品の製造
事業活動における環境への影響	
<p>本庄地区は、各種製品の組立及び検査を主体とした工場です。</p> <p>「エネルギーの使用」、「廃棄物の排出」が大きなウェイトを占めており、これらの環境負荷低減に向けた活動を実施しています。</p>	

高岡地区



地区概要	
所在地	群馬県高岡市高岡1256 - 1 (〒370-2316)
工場設立	昭和35年(1960年)
従業員数	約480名(関企含む)
敷地面積	62,208 m ²
建築面積	42,040 m ²
用途地域	工業専用地域
事業内容	情報機器製品の加工部品の製造
事業活動における環境への影響	
<p>高岡地区は、メカトロ部品の製造拠点であり、部品加工、表面処理の工程を持つ工場です。</p> <p>「エネルギーの使用」、「廃棄物の排出」に加え、「化学物質の使用」が大きなウェイトを占めており、これらの環境負荷低減に向けた活動を実施しています。</p>	

3. 環境方針 と 環境管理体制

環境方針

生産サービスカンパニー 環境方針

環境理念

沖電気工業(株)生産サービスカンパニーは地球環境との調和を最大限に尊重し全ての企業活動を通じて、環境にやさしい社会の実現に貢献します。

行動指針

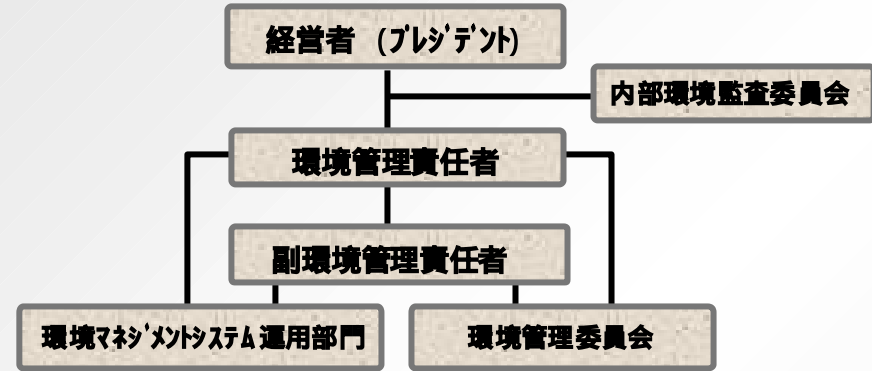
1. 情報・通信機器および受託製品をはじめとした生産活動において環境影響を的確に捉え、環境保全と汚染の予防等、環境リスクの低減に努めます。
2. 環境関連の法規、条例及び当カンパニーが同意するその他要求事項を遵守することはもとより、自主管理基準を設け行動します。
3. 環境目的・目標を設定し経営者による見直しを定期的を実施すると共に効率的かつ効果的な環境マネジメントシステムの運用に努めます。
4. 限りある資源を大切にすることを基本とし、業務改善等により企業活動全般における省資源、省エネルギー、廃棄物の排出抑制・再利用に努めます。
5. 化学物質の使用抑制、グリーン調達、環境配慮型製品の製造への参画等により環境にやさしい製品の提供に努めます。
6. 緑化活動や施設の提供等を通して地域社会に貢献します。
7. 環境方針は、全構成員に周知すると共に一人一人の環境意識の向上に努めます。

この方針は社内外に公表します。

沖電気工業(株) 生産サービスカンパニー
 プレジデント: 森園 英人

環境管理体制

MSCでは、下記組織を編成して、本庄・富岡地区内の関連会社、協力会社も含めた環境マネジメントシステムを構築・維持し、環境負荷低減活動を推進しています。



- <経営者> MSC (本庄地区、富岡地区) 全体の最高責任者
- <環境管理責任者> MSC (本庄地区、富岡地区) の環境マネジメントシステム全体を統括
- <副環境管理責任者> 環境管理責任者を補佐し、富岡地区の環境マネジメントシステムを統括
- <内部環境監査委員会> ... 内部環境監査の計画、実行
- <環境管理委員会> 環境マネジメントシステムの維持、改善を推進

【 ISO14001登録証 】



4. 2004年度環境目標及び実績

環境に影響を与える事業活動に関して、毎年、調査・評価を行い、その評価結果を基にMSCの環境目標を設定し、環境負荷低減活動を推進しています。

2004年度 環境目標と実績

環境側面	環境影響	03年度 実績	04年度 目標	04年度 実績	施策概要
CO ₂ の排出	地球温暖化	- 6,402 t-CO ₂	電力使用量 電力使用量 2,045.7万KWH 換算炭酸ガス排出量 6,516t-CO ₂ 以下	2,025.9万KWH 6,478t-CO ₂	・照明設備のインバータ化 ・局所空調機の更新 ・高効率トランスの更新 ・夜間蓄熱方式の冷凍機の活用 ・生産性・製品品質の向上
紙の使用	森林伐採 砂漠化	5,478千枚	紙の使用量 2003年度比2%減 5,368千枚以下	5,417千枚	(注) ・規定発行のWEB化 ・発行文書・記録の電子化 ・注文書・伝票の削減、電子化 ・コピー用紙、事務用紙の削減
廃棄物の排出	廃棄物処分場 の逼迫	再資源化率 99.80%	再資源化率 99.85%以上 (ゼロエミ継続維持) 廃棄物発生量 2003年度比1%減 2,435t以下	99.88% 2,001t	・分別廃棄の推進 ・再資源化処理の開拓 ・梱包部材の再利用 ・製品品質の向上
環境影響化学 物質の抑制	有害物質 の排出	- -	環境影響化学物質の使用量 2003年度比2%減 8,835kg グリーン調達調査の推進 取引先環境対策状況調査と化 学物質使用抑制依頼の徹底	6,290kg 調達先業者への改善依頼 (6社)	・有害物質含有塗料の使用量 削減 ・調達先業者への改善依頼
地域との融和	アメニティー 向上	社有施設の開放、 地域清掃の実施(富 岡) ケナフ栽培、森林 ボランティアへの参 画	グラウンド等の社有施設の開 放、地域清掃等への参画 各地区工場内でケナフ栽 培の拡大実施	グラウンドの開放 地域清掃への実施 森林ボランティアの参加 富岡地区で栽培実施	・グラウンド等の施設の開放 ・地域清掃への参画 ・ケナフの栽培

(注)紙の使用量としては目標未達であるが、業務改善活動としては達成しているため

5. 2005年度 環境目標

2005年度は、日常業務の改善を通して、更に省エネルギー / 廃棄物の抑制・再利用 / 環境影響化学物質の削減を推進し、環境負荷低減に取り組めます。

2005年度 環境目標

環境に著しい影響を与える側面	法規制及びその他要求事項	環境目標	
エネルギーの使用 (炭酸ガスの排出による地球温暖化)	省エネルギー法 地球温暖化対策法	エネルギーの使用を2004年度比2%以上削減する ・電力使用量 2005年度 1985万KWH ・重油の使用量 2005年度 251KL	MSC全体で、 業務改善テーマ48件以上 を推進する
廃棄物の排出 (処分場の逼迫) (炭酸ガスの排出) (有害物質の排出)	廃棄物処理法	ゼロエミッションの継続維持 ・廃棄物の再資源化率を2005年度末までに 99.9%以上 ・廃棄物の発生量を2004年度比2%以上削減する ・廃棄物発生量 2005年度 1961t	(例) ・業務の効率化 ・品質の向上 ・スペースの削減 ・生産性の向上 ・設備の集約 ・化学物質の使用削減 等
環境影響化学物質の使用 (土壌汚染) (水質汚染)	PRTR法	環境影響化学物質の使用量を2004年度比 原単位で2%以上削減する。 (年間1t以上使用するPRTR物質) ・PRTR物質の使用量2005年度 6164kg	

6. 環境負荷低減活動

環境負荷低減の主体となる3つの活動「省エネ/レスペーパー/廃棄物削減」に関して、2004年度に実施した主な取組み内容、及び今までの取組み状況を以下に示します。

省エネ(地球温暖化防止)活動

照明設備のインバータ化
局所空調機の更新
高効率トランスの更新
夜間蓄熱方式の冷凍機の活用
生産性・製品品質の向上

レスペーパー活動

規定発行のWEB化
発行文書・記録の電子化
注文書・伝票の削減、電子化
コピー用紙、事務用紙の削減

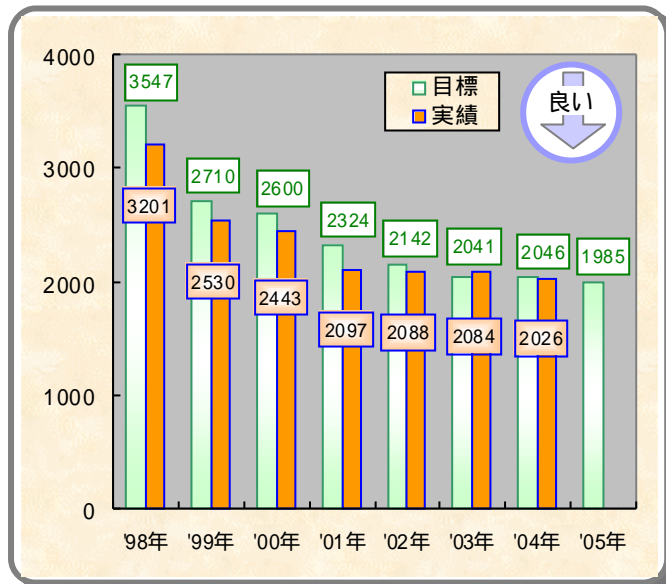
廃棄物削減活動

分別廃棄の推進
再資源化処理の開拓
梱包部材の再利用
製品品質の向上

ゼロエミッション [沖グループのゼロエミッションの定義]
再資源化率: 99.0%以上
・本庄地区(2001年) / 富岡地区(2002年)に達成

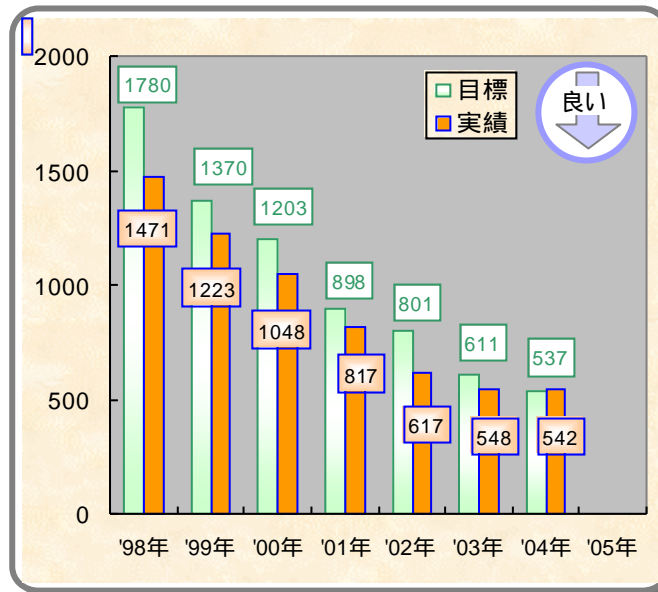
【電力使用量】

単位: 万KWH



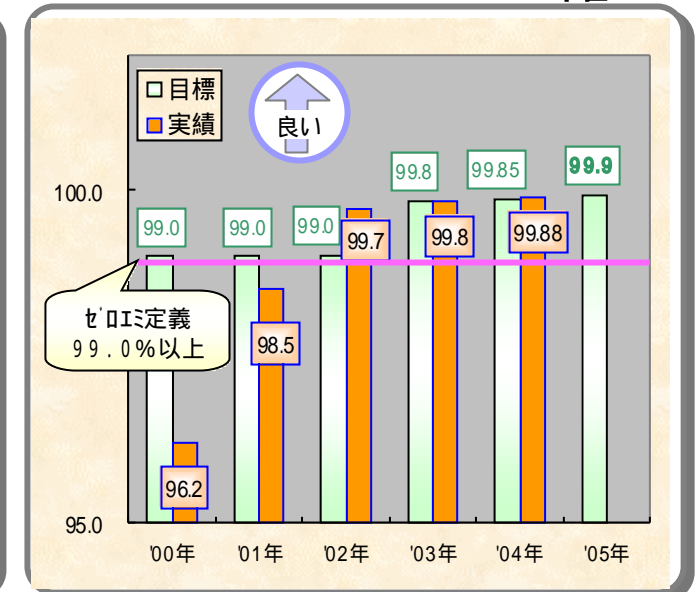
【紙使用量】

単位: 万枚



【再資源化率】

単位: %



7. 遵法

各種測定項目に対し自主管理値を設定し、これに基づく日常管理を行い、法規制順守に努めています。

水質関係

〔工場排水(有害物質)〕

	分析項目	単位	(県)水質基準	自主管理値	測定値(最大値)
富岡地区	アルキル水銀化合物	mg/l	不検出	不検出	不検出
	水銀又はその化合物	mg/l	0.005	0.0005	不検出
	カドミウム又はその化合物	mg/l	0.1	0.005	不検出
	鉛又はその化合物	mg/l	0.1	0.005	不検出
	有機リン	mg/l	1.0	0.01	不検出
	6価クロム化合物	mg/l	0.5	0.01	不検出
	砒素又はその化合物	mg/l	0.1	0.005	不検出
	シアン化合物	mg/l	1.0	0.033	不検出
	ホリ塩化ビフェニル類	mg/l	0.003	0.0001	不検出
	1,1,1-トリクロロエタン	-	3.0	0.0005	不検出
	トリクロロエチレン	mg/l	0.3	0.002	不検出
	フッ素及びその化合物	mg/l	8	3.3	不検出

〔食堂排水〕

	分析項目	単位	(市)下水道基準	自主管理値	測定値(最大値)
本庄地区	PH	-	5~9	5.2~8.1	5.9~7.8
	BOD	mg/l	600	550	470
	ルマヘキサン	mg/l	30	28	28
	リン	mg/l	32	10	3.8
	窒素	mg/l	240	158	34
	ヨウ素消費量	mg/l	220	12	<5

振動関係

	時間区分	項目	区域規制値	自主管理値	測定値(最大値)
富岡地区	昼間(8:00~19:00)		7.0 dB以下	6.8 dB以下	3.2 dB
		夜間(19:00~8:00)	6.5 dB以下	6.3 dB以下	2.7 dB

大気関係

〔スクラバー〕

	分析項目	単位	規制値	自主管理値	測定値
富岡地区	硝酸	cm³/Nm³	---	1.0	不検出
	塩化水素	cm³/Nm³	80	0.5	不検出
	ニッケル	mg/Nm³	---	0.2	不検出
	弗化水素	cm³/Nm³	---	0.1	不検出

〔局所排気装置〕

	分析項目	単位	規制値	自主管理値	測定値
本庄	IPA	ppm	---	76	<5.0
	鉛化合物	mg/m³	---	0.044	<0.02

騒音関係

	時間区分	項目	区域規制値	自主管理値	測定値(最大値)
富岡地区	昼間(8:00~18:00)		7.0 dB以下	6.8 dB以下	6.5 dB
		朝(6:00~8:00) 夕(18:00~21:00)	6.5 dB以下	6.3 dB以下	6.2 dB
	夜間(21:00~6:00)		5.5 dB以下	5.3 dB以下	4.8 dB

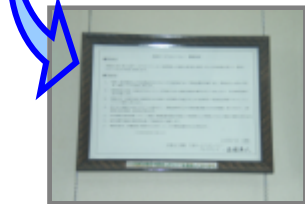
	時間区分	項目	区域規制値	自主管理値	測定値(最大値)
本庄地区	昼間(8:00~19:00)	A	7.0 dB以下	6.8 dB以下	5.2 dB
		B		6.5 dB以下	4.9 dB
	朝(6:00~8:00) 夕(19:00~22:00)	A	6.5 dB以下	6.3 dB以下	4.8 dB
		B		6.0 dB以下	4.6 dB
	夜間(22:00~6:00)	A	6.0 dB以下	5.8 dB以下	3.9 dB
		B		5.5 dB以下	4.4 dB
A:工業専用地域側, B:住居地域側					

9. その他

緑化活動 <ケナフ栽培>

ケナフは他の植物に比べ成長が早く、炭酸ガス(CO₂)をたくさん吸収することから、地球温暖化防止に少し貢献できると言われており2003年度より緑化活動の一つとして、“ケナフ栽培”に取り組んでいます。

栽培したケナフの一部は紙製品化し、会議室等に掲示している環境方針&品質方針の用紙として使用しています。



〔『ほんじょう緑の基金』
感謝状〕



〔『富岡：地域清掃』の様子〕



〔(富岡地区)栽培状況〕

〔自社栽培のケナフ紙を利用したMSC環境方針〕

〈お問い合わせ先〉

沖電気工業株式会社 生産サービスカンパニー
CS・ISO推進チーム

TEL:0495-22-5111(代)

FAX:0495-25-1415